

# ちぐさ福祉ネットワーク

第1号



編集:千種小学校区小域福祉ネットワーク事務局 発行責任者:千種小学校区小域福祉ネットワーク 会長:杉山興司

「明るく、元気に、楽しく助け合い」を  
テーマに活動しています



千種小学校区  
小域福祉ネットワーク  
会長 杉山興司

千種小学校区にお住まいの住民による主体的な参画により「支え合い・助け合い」の仕組みを作り、誰もが安心して暮らせる地域社会を作ること

目的として「千種小学校区小域福祉ネットワーク」が平成二十五年四月に設立され現在に至っております。

平素は、地域の皆様方には、温かいご支援ご協力を賜り感謝申し上げます。

この度、皆様にネットワークの活動状況を知って頂くために、広報紙「ちぐさ福祉ネットワーク」を発行することにいたしました。

ネットワーでは、大きく分けて四つの活動を行っています。

第一に「児童へのあいさつ、見守り活動の推進事業」として千種小、千種中での挨拶運動と、年二回の防犯見守り運動を、推進委員により実施しています。

第二に「安心生活見守り支援事業」では、独居高齢者、身体に障がいをお持ちの方について、安心訪問員が定期的に見守り訪問を実施しています。

第三に「歳末たすけあい 地域福祉支援事業」では、高齢者の食事会などを開き、食事と余興を楽しんでいただいています。

第四に「高齢者茶話会事業」では、独居高齢者、身体に障がいをお持ちの方、高齢者世帯など引きこもりがちな人を対象に茶話会に参加して頂き、交流の場を広げていくことを目的としています。

## ちぐさ福祉ネットワークでは、こんな活動をしています

### あいさつ運動

千種小学校区小域福祉ネットワーク役員、協力員、PTA、民生・児童委員と共同で毎月実施しました。児童たちも元気な声であいさつしてくれました。



夏休みにはPTA、町会、青少年健全育成地区民会議、民生・児童委員と共同で校外パトロールを実施しました。

### 安心生活見守り支援事業

安心訪問員により、独居高齢者、身体障がい者を年間通じて見守り活動しています。





**茶話会**

平成29年7月22日 第1回千種地区茶話会を千種コミュニティセンターで開催しました。70歳以上の高齢者21名が参加してくださいました。

南京玉すだれ等の余興やゲームを楽しみ懇親に役立てて頂きました。

写真は清水さんの「南京玉すだれ」

**五井地区小域福祉ネットワーク交流会**

平成29年7月15日 小域福祉ネットワーク交流会を川岸公民館で開催し、諸問題の解決事例を話し合い、活動を進める上での情報交換をしました。



**千種フェスティバル**

平成29年11月4・5日 千種まちづくり協議会主催の千種フェスティバルに参加しました。

千種コミュニティの各サークル発表会や、出店、抽選会などで大変にぎわいました。

**歳末たすけあい運動、高齢者食事会**

平成29年12月5日 北青柳公民館で高齢者食事会を開催しました。

落語、どじょうすくい、手品、ゲームなど楽しい時間をすごしました。

写真は、遊び亭酔生さんの「落語」



**五井大市**

平成29年12月2・3日 五井地区社会福祉協議会に協力し、歳末たすけあい募金活動に参加しました。



# 平成30年千種小学校区小域福祉ネットワーク総会

平成30年4月22日(日)に、千種小学校区小域福祉ネットワークの総会が千種コミュニティセンターで開かれました。推進委員58名が出席し、29年度の決算報告、事業報告、30年度の予算、事業計画などが討議され、承認されました。



## 平成29年度 決算報告

### 【収入】

前年度繰越金および雑収入	965,661円
補助金	422,000円
維持費	130,000円
<b>合計</b>	<b>1,517,661円</b>

### 【支出】

事業費	255,899円
事務費、会議費	249,331円
次年度繰越金	1,012,431円
<b>合計</b>	<b>1,517,661円</b>

## 平成29年度 事業報告

1. 児童へのあいさつ、見守り活動
2. 安心生活見守り支援事業
3. ネットワーク会議の開催
4. 高齢者茶話会の開始
5. 他地区ネットワークとの合同研修
6. 歳末たすけあい運動「地域福祉支援事業」

## 平成30年度 予算

### 【収入】

前年度繰越金および雑収入	1,013,431円
補助金	330,000円
維持費	130,000円
<b>合計</b>	<b>1,473,431円</b>

### 【支出】

事業費	350,000円
事務費、会議費	235,000円
予備費および次年度繰越金	888,431円
<b>合計</b>	<b>1,473,431円</b>

## 平成30年度 事業計画

1. 児童へのあいさつ、見守り活動
2. 安心生活見守り支援事業
3. 高齢者の茶話会
4. 他ネットワークとの情報交換
5. ネットワーク会議の開催
6. 歳末たすけあい運動「地域福祉支援事業」
7. ちぐさ福祉ネットワークの広報紙発行

千種  
こぼれ話

徳川義軍  
「青野虎之助」の墓



徳川義軍 青野虎之助の墓

今から一五〇年前、慶応四年（一八六八年）の鳥羽伏見の戦いで始まった戊辰戦争の結果、江戸城は無血開城しましたが、これに不満な幕府軍の一部は、各地で官軍に抵抗しました。

ここ上総の地でも、閏四月七日に徳川軍（義軍という）は新政府軍（官軍という）と市川船橋で戦端を開き、敗走して五井町の村々に移り、養老川の渡船

場（出津）を要害の地として激戦を繰り広げました。

この出津の戦いでも、義軍は官軍鉄砲隊の前に散々の負け戦となり、松ヶ島へ逃げ込んだのでした。

義軍の中に、市川船橋の戦い以来、軍配をかざして義軍隊士を励ましていたため、軍配の青野として知られた、青野虎之助という武士がいました。

たのち、青野氏を憐れんだ松ヶ島の村人達は、ねんごろに弔つて埋葬したのでした。

時移り明治の代になって、青野氏の妻が息子を連れて、亡き夫の消息を尋ね歩き、ようやく松ヶ島に埋葬してあることを聞き、ある時松ヶ島の屋号「髪結い」を訪ねてきました。妻の話では、青野氏は静岡藩士で、軍配は青野家代々の伝来品であり、火縄銃も持って戦場に赴いたとのことでした。

妻子は、埋葬してくれた村人たちに厚く礼を述べ、判ヶ台にある墓地に石碑を建て、手厚く供養をして静岡に戻ったといひます。

松ヶ島の涼風庵には、今も青野虎之助の墓が、松ヶ島の人たちによってきれいに清掃され、ひっそりと建っています。

——義軍官軍むかしむかし  
名主日記

（市原市文化財研究会）より——



AYAMEのたむけ

アヤメ 「よい便り」

「メッセージ」

「希望」

千種小学校区小域福祉ネットワークでは、今年度より広報紙「ちぐさ福祉ネットワーク」を発行することになりました。

編集員一同、「明るく、元気に、楽しく助け合い」を合言葉に活動していきますので、皆様ご協力、ご理解の程、よろしくお願いいたします。

（編集子）

